

ViewLight[®] WT615J
ビューライト

**eBeam Interactive
 ソフトウェア セットアップガイド**



1. eBeam Interactive ができること	●	1
2. 動作環境	●	2
3. パソコンとプロジェクター の接続	●	3
4. インストール	●	4
5. 起動と終了	●	5
6. 注意制限事項	●	6

はじめに

このたびは、NECミラー投写型プロジェクターWT615J(以降、「WT615J」を「本機」または「プロジェクター」と呼びます)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

WT615Jには、eBeamセンサーポッドを内蔵しており、添付の電子ペンを使ってスクリーンをタッチすることにより、様々な操作ができます。

本書は、WT615J専用の対話型デジタルプレゼンテーションツール「eBeam Interactive (イービーム・インタラクティブ) ソフトウェア」(以降、「eBeam Interactive」と省略します)を使用するための設定を説明しています。

本書のほかに、次の説明書もご覧ください。

- ①電子ペンの操作方法 …………… WT615Jの「スタートアップガイド」、「補足説明書」
- ②eBeam Interactiveの操作方法 …………… eBeam Interactiveの「ヘルプ」(オンラインヘルプ)
- ③LAN(有線／無線)の設定 …………… WT615Jの「ネットワーク設定ガイド」
- ④Image Express Utility 2.0について … User Supportwareの「基本操作ガイド」(PDF)

eBeam Interactiveソフトウェアは、Windows Vista、Windows XP、およびWindows 2000において動作します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

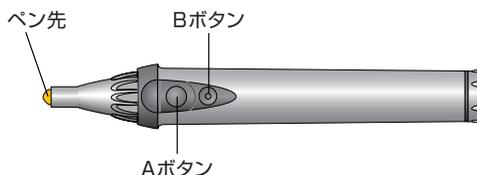
目次

はじめに	表紙裏
目次	1
1. eBeam Interactiveでできること	2
2. 動作環境	3
2-1. 対応プロジェクター	3
2-2. 動作環境	3
3. パソコンとプロジェクターの接続	4
3-1. LANを使って接続する	4
3-2. RGB信号ケーブルとUSBケーブルを使って接続する	4
4. インストール	5
4-1. インストール	5
4-2. アンインストール	5
5. 起動と終了	6
5-1. eBeam Interactiveを起動する	6
5-2. eBeam Interactiveを終了する	10
6. 注意制限事項	11
6-1. 追加機能	11
6-2. 利用できない機能	11
6-3. 注意	11
ダウンロードサービスのご案内	12
eBeam Interactive ソフトウェアに関するお問い合わせ窓口	12

1. eBeam Interactiveでできること

- 電子ペンを使って、USBマウスと同様にパソコンの操作が行えます。

さらに、投写画面をホワイトボードに見立て、電子ペンを使って、文字や図形を描くことができます。



ペン先: マウスの左ボタン

Aボタン: マウスの右ボタン

Bボタン: Interactiveツールパレットの表示/非表示

(注)AボタンおよびBボタンは、0.5秒以上押したままにしてください。

- 操作は、投写画面上に表示されるInteractiveツールパレットを電子ペンでタッチして行います。



- 投写画面に描いた文字や図形は、様々な形式の画像ファイルとして保存することができます。
- PowerPointファイルを呼び出して、プレゼンテーションをしながら、電子ペンを使って文字や図形を書き加えることができます。さらに、書き加えた情報をそのまま保存することができます。
- パソコンとプロジェクターの接続には、LAN(有線/無線)、またはUSBポートが利用できます。

注意

本機ではCOMポートおよびBluetoothは使用できません。

- 複数のパソコンを接続すると、投写画面の画像を共有することができます。eBeam Interactiveでは、この機能を「ミーティング」と呼びます。

2. 動作環境

2-1. 対応プロジェクター

eBeam Interactivelは、次のNEC製プロジェクターに対応しています(2007年5月現在)。

WTシリーズ	WT615J
--------	--------

2-2. 動作環境

ここでは、パソコンとプロジェクターをRGB信号ケーブルとUSBケーブルで接続して使用する場合の条件を記載しています。

LAN(有線/無線)環境で使用する場合は、WT615Jに添付している「ネットワーク設定ガイド」をご覧ください。

重要

COMポートおよびBluetoothでの接続はできません。

対応OS	Windows Vista (32ビット版) Home Basic Windows Vista (32ビット版) Home Premium Windows Vista (32ビット版) Business Windows Vista (32ビット版) Ultimate Windows Vista (32ビット版) Enterprise Windows XP HomeEdition Windows XP Professional Windows 2000 Professional
対応機種	IBM PC/AT 互換機
CPU	Pentium III 500メガヘルツ以上 (Windows XP/2000の場合) Windows Vistaの場合は、マイクロソフトが推奨しているハードウェア仕様を満たしていること。
メモリ	OSが通常必要とするメモリ容量
プロジェクターとの接続手段	RGB信号ケーブルとUSBケーブルを使用
解像度	SVGA以上
画面の色	High Color (15ビット*, 16ビット) (*15ビットは、Windows XP/2000のときのみ) True Color (24ビット、32ビット) ※256色以下には対応していません。

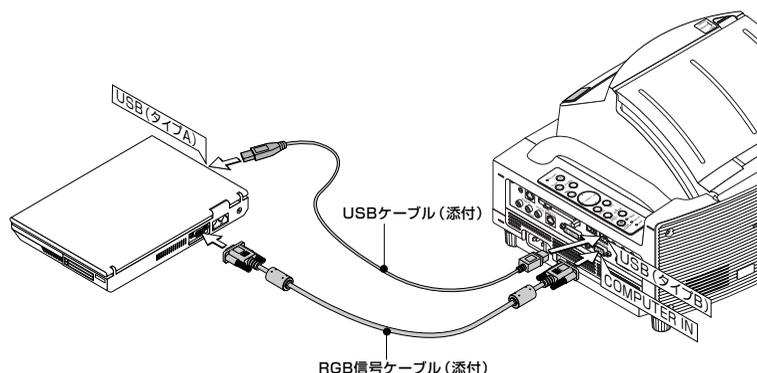
3. パソコンとプロジェクターの接続

パソコンとプロジェクターの接続には、LAN(有線／無線)、またはUSBポートが利用できません。

3-1. LANを使って接続する

WT615Jに添付している「ネットワーク設定ガイド」を参照して、プロジェクターとパソコンにLANの設定を行ってください。

3-2. RGB信号ケーブルとUSBケーブルを使って接続する



注意

本機ではCOMポートおよびBluetoothは使用できません。

4. インストール

4-1. インストール

重要

- eBeam InteractiveをLAN接続にして使用する場合は、必ず「Image Express Utility 2.0」をインストールしてください。
Image Express Utility 2.0は、WT615Jに添付しているUser Supportware CD-ROMに収録しています。Image Express Utility 2.0のインストールについては、User Supportware CD-ROMに収録している「基本操作ガイド」(PDF)をご覧ください。
- Windows XPの場合、ソフトウェアのインストール／アンインストールは、「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
また、Windows 2000の場合は「Administrator」権限で、Windows Vistaの場合は「管理者」権限で行ってください。
- ここでは、Windows XPでの操作を例に説明しています。

1 ダウンロードしたeBeam Interactiveのファイルを実行する。
eBeam Interactiveのセットアップが起動します。

2 以降、画面のメッセージに従って操作する。

4-2. アンインストール

eBeam InteractiveをWindowsから削除します。

1 [スタート]メニューから[コントロールパネル(C)]をクリックし、続いて[プログラムの追加と削除]をダブルクリックする。
現在インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

2 一覧の中の「eBeam Interactive 1.0.x」をクリックする。

3 画面右側の[変更と削除]をクリックする。
プログラムの削除が開始されます。

5. 起動と終了

5-1. eBeam Interactiveを起動する

重要

- 電子ペンをはじめて使用する場合、および本機またはスクリーンの設置位置を変更した場合は、電子ペンを使用する前に必ず「ペンキャリブレーション」を実行してください。
「ペンキャリブレーション」について詳しくは、WT615Jに添付している「スタートアップガイド」をご覧ください。

■ LAN接続の場合

- LANの設定をしたプロジェクターの電源を入れる。
- デスクトップ上の「eBeam Interactive」アイコンをダブルクリックする。



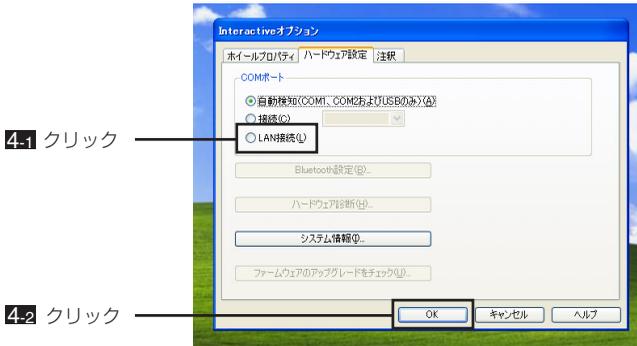
「Interactiveセンサーポッドを検知」ウィンドウが表示されます。



3 クリック

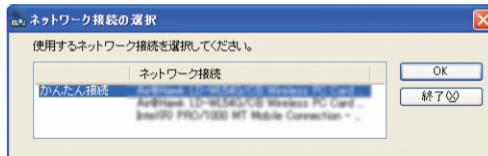
3 「設定(S)」をクリックする。

「Interactiveオプション」ウィンドウが表示されます。

**4** 「ハードウェア設定」タブが開いていることを確認し、「LAN接続(L)」をクリックし「OK」をクリックする。

「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

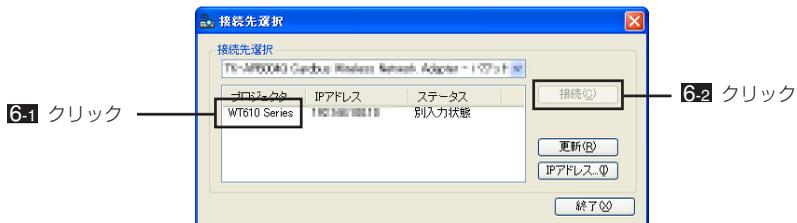
- お使いのパソコンに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。
- お使いのパソコンにネットワーク機器が1つしか接続されていない場合は、「ネットワーク接続の選択」ウィンドウは表示されません。

5 使用するネットワーク機器を選択して、「OK」をクリックする。

プロジェクター側のLANの設定で「かんたん接続」を設定している場合は、「かんたん接続」と表示されているネットワーク機器を選択してください。「接続先選択」ウィンドウが表示されます。

6 接続したいプロジェクターをクリックし、[接続]をクリックする。

一覧に接続したいプロジェクター名が表示されていない場合、またはハイド表示されている場合は、[更新]をクリックしてください。



お使いのパソコンの画面がプロジェクターから投写されます。

画面上に、Interactiveツールパレットが表示されます。

このとき、プロジェクターの入力信号が自動的に「LAN」に切り替わります。



■ RGB信号ケーブルとUSBケーブル接続の場合

- 1 RGB信号ケーブルとUSBケーブル接続を接続したプロジェクターの電源を入れる。
- 2 プロジェクターの入力信号を「コンピュータ」に切り替える。
お使いのパソコンの画面がプロジェクターから投写されます。
- 3 デスクトップ上の「eBeam Interactive」アイコンをダブルクリックする。



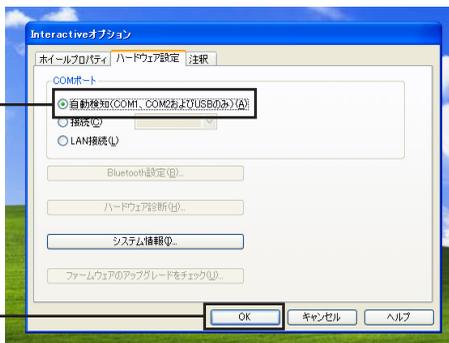
「Interactiveセンサーポッドを検知」ウィンドウが表示されます。



4 クリック

- 4 [設定(S)]をクリックする。

「Interactiveオプション」ウィンドウが表示されます。



5-1 クリック

5-2 クリック

5. 起動と終了

- 5** [ハードウェア設定]タブが開いていることを確認し、「自動検知(COM1、COM2およびUSBのみ)(A)」をクリックし[OK]をクリックする。
画面上に、Interactiveツールパレットが表示されます。



5-2. eBeam Interactiveを終了する

- 1** Interactiveツールパレットにマウスポインタを移動して、右クリックする。
メニューが表示されます。



- 2** [終了(X)]をクリックする。
eBeam Interactiveが終了します。

6. 注意制限事項

このeBeam Interactive ソフトウェアは、WT615Jと接続して使用するために開発されたものです。そのため、eBeam Interactive ソフトウェアのオンラインヘルプの記載と異なる部分があります。

eBeam Interactive ソフトウェアが本来搭載している機能でも、WT615Jで利用できないものがあります。また、オンラインヘルプに記載していない機能(追加機能)があります。

6-1. 追加機能

次の機能が追加されています。これらの機能に関してはオンラインヘルプに記載はありません。

- 「Interactiveオプション」ウィンドウの[ハードウェア設定]タブの「LAN接続(L)」

6-2. 利用できない機能

次の機能は利用できません。

- 「COM1」などのCOMポートを利用した接続
- 「Interactiveオプション」ウィンドウの[ハードウェア設定]タブの「Bluetooth設定(B)...」
- 「Interactiveオプション」ウィンドウの[ハードウェア設定]タブの「ハードウェア診断(H)...」
- 「Interactiveオプション」ウィンドウの[ハードウェア設定]タブの「ファームウェアのアップグレードをチェック(U)...」
- 「Interactiveオプション」ウィンドウの[ソフトウェア更新]タブおよびタスクトレイの「ソフトウェア更新(S)」
- タスクトレイあるいはInteractiveツールパレットを右クリックしたときに表示されるサブメニューの「Interactiveエリア調整」

6-3. 注意

- Desktop Annotationツールを利用中は、投写画面周辺部分がグレーで表示されます。また、使用するパソコンの環境によっては、この部分への描画が正常に行えない場合があります。
- Windowsのマルチモニタ環境で利用する場合は、本機はプライマリモニタとして利用してください。セカンダリモニタとしては正常に動作しません。
- Desktop Interactiveツールパレットのペンツールを利用してデスクトップに注釈を付けている間に、解像度変更やタブレットPCの回転処理を行った場合は、描画領域を更新するために一度ペンツールを終了してやりなおしてください。

- 解像度変更やタブレットPCの回転処理を行ったあとにDesktop Interactiveツールパレットのキャプチャツールを利用する場合、キャプチャ領域が更新されないため正しくキャプチャできません。一度アプリケーションを終了してから実行してください。
- Scrapbookファイルを「ベクターPDFファイル」形式で保存する際は、保存先の空き容量に注意してください。空き容量が不足している場合は正常に保存されません。
- eBeam Interactiveは、仮想スクリーンには対応していません。
- Windows Vistaにおいて、ユーザーアカウント制御(UAC)が有効になっているときに表示されるプロンプトの操作はできません。
- Windows Vistaにおいて、ソフトウェアキーボードなど一部のアプリケーションは操作できない場合があります。この場合はeBeam Interactiveのショートカットを右クリックし、「管理者として実行」することで回避できます。

ダウンロードサービスのご案内

eBeam Interactive ソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL:<http://www.nec-display.com/products/projector/>

eBeam Interactive ソフトウェアに関するお問い合わせ窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

TEL 0120-610-161

受付 9:00~18:00

(土日祝祭日、および当社指定日は除く)

- ViewLight、ビューライトは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- eBeam、eBeam enabledロゴは、Luidia,Inc.の商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

ミラー投写型プロジェクター
WT615J

eBeam Interactive ソフトウェア セットアップガイド

2007年5月 3版

NECディスプレイソリューションズ株式会社

© NEC Display Solutions, Ltd. 2005-2007

NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

NEC